

民法

1 過去5年の出題テーマ

2026 年度	・遺産共有 ・共有権者による他の共有権者から使用を許諾された第三者に対する明渡請求の可否 ・共同相続人の1人がその相続分を超えて遺産共有に属する財産を使用している場合の他の相続人からの遺産使用対価の償還請求
2025 年度	・解除と第三者 ・賃貸人たる地位の移転と解除の遡及効の関係
2024 年度	・賃貸借契約における修繕義務違反に基づく損害賠償請求 ・損害の範囲 ・必要費償還請求 ・賃借権による対抗、留置権
2023 年度	・不法行為責任 ・共同不法行為責任 ・使用者責任 ・求償の範囲
2022 年度	・催告解除 ・複合的契約と解除

2 出題形式及び傾向

出題形式

- ・長文の【事実】を提示したうえで、各設問につき指定された範囲の事実を前提として論述させる「事例問題」の形式である。事実は時系列に従いⅠ、Ⅱ、Ⅲ……と段階的に追加され、後の設問ほど検討対象となる事実が拡張される構造である
- ・設問は事実のブロックごとに1～2個で、合計3～4個で構成されることが多い
- ・事実をどこで区切るかによって、各設問に対する問題文の分量は異なるが、合計すると予備試験よりも少し短い程度の分量

出題傾向

- ・出題範囲に偏りが無いことが特徴といえるほど、満遍なく全範囲から出題されている

- ・ 対抗関係に関する理解を様々な角度から問う傾向にある
- ・ 総則からの出題が少ない傾向がある

3 予想テーマ

- ・ 意思表示の瑕疵と第三者保護
- ・ 94 条 2 項と対抗関係
- ・ 物上代位と差押え
- ・ 債権譲渡と対抗関係